

## [2021/2022]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/4796098>

---

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2021/2022, pp.1-, 2022-08. Kyushu University Library  
バージョン：  
権利関係：

# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2021/2022

九州大学附属図書館年報 2021/2022



# CONTENTS もくじ

Topics .....	3
展示会・講演会 .....	7
国際化 .....	9
講習会/Cute.Guides .....	10
新規コレクション・デジタルコンテンツ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR) .....	11
研究開発室 .....	13
人材育成 .....	14
統計 .....	15
附属図書館の組織 .....	21
人事異動 .....	23
貴重資料の学外展示・掲載・放映 .....	24
図書館日誌 .....	25



附属図書館長  
岩田 健治

## はじめに

令和4年4月より附属図書館長を拝命致しました。この間、新型コロナ禍における図書館運営という困難な課題に挑戦してこられた歴代の宮本一夫、久保智之、両附属図書館長の後任として、ピヨンド・コロナの附属図書館の発展に尽力して参りたいと存じます。

令和3年初夏からのワクチン接種も進み、令和4年4月の新学期からは本学の講義の多くが対面(含HyFlex)となったことも相俟って、附属図書館にも従前の活気が戻って参りました。コロナ禍の2年間は、利用時間や利用座席数の制限をはじめ各種の感染拡大防止措置を施す一方、図書館サービスの水準維持のため、電子ジャーナルの特別提供、電子ブックの整備、貴重資料等の電子化と即時公開、各種学習・教育支援のオンライン化等、一連の非来館サービスを拡充して参りました。今後は、ピヨンド・コロナを見据え、コロナ禍により加速したデジタル化をさらに主体的に推し進め、従前の魅力的な実空間とデジタル空間とがベストマッチで補完し合う新しい図書館の在り方を利用者の皆様と共に追求して参ります。

令和3年11月、九州大学は文部科学省より「指定国立大学法人」の指定を受け、令和4年4月には「データ駆動イノベーション推進本部(DX推進本部)」を設置しました。附属図書館も「図書館DX支援室」を新たに設け、次世代オープンエデュケーションや研究データ管理支援などの活動を担って参ります。また研究教育の展開にとって最重要のインフラともいえる電子ジャーナルを巡っては、購読料が高騰する一方、OA(オープンアクセス)への転換が世界的潮流となっております。OA化を巡る最新の動きを具に把握・検討しつつ、当面、現行の購読規模を維持するための安定的財源の確保について、各部局の研究現場の皆様と知恵を出し合って参りたいと考えます。

コロナに翻弄された令和3年でしたが、図書館TA(Cuter)の活動が、国立大学図書館協会賞を受賞したことは特筆すべき嬉しいニュースです。Cuterは、本学附属図書館が誇る学習支援制度で、様々な分野で研究を行う20名弱の大学院生がTAとして学習支援等を行っております。今回は、図書館とCuterが協働し学習法指導や進路指導などを体系的に運営していることが特に高く評価されました。

また医学図書館では令和3年8月からの改修工事のため、規模を縮小したサービスを仮設図書館により提供するなどご不便をおかけいたしました。工事も無事完了し、令和4年10月にグランドオープン予定です。どうかご期待ください。

アフガニスタンで現地の民に寄り添い、医療のみならず灌漑等を通じた農業の発展に心血を注いでこられた故・中村哲医師(本学医学部卒)。その志を次世代に伝えるプロジェクトとして「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」(中央図書館4階の展示スペースと著述アーカイブ)が令和3年3月に開設されましたが、令和3年度には「中村哲記念講座」が基幹教育科目として新たに開講されました。附属図書館は、本プロジェクトに引き続き貢献して参ります。

末筆ながら、令和3年度より九州大学基金の用途特定プロジェクトとして「九州大学デジタル資料整備事業」を開始しております。これは貴重書などのデジタル化と公開を進める事業で、寄附金額に応じて、附属図書館所蔵の貴重書をモチーフとしたオリジナルグッズの進呈もごさいます。皆様の御協力をお願い申し上げます。

## コロナ禍における図書館サービス

### ● 窓口対応

令和3年度は、2回の緊急事態宣言があり、福岡県も緊急事態措置の対象地域となりました。その期間、本学の行動指針の段階に沿って、中央図書館・理系図書館・芸術工学図書館では、閉館時間を1時間早めました。

一方、コロナ禍においても学習・研究の場として機能するよう、各館では、感染拡大防止対策を徹底した上で、来館利用の制限を段階的に緩和しています。前年度から、利用者間の密接や長時間滞在を抑制するために座席の一部を利用停止していましたが、パーティションを追加したりすることで、各館で利用可能な閲覧席を徐々に増やしました。令和3年11月には中央図書館のきゅうとコモンズ、理系図書館のラーニングコモンズのグループ利用も再開しています。また、新型コロナウイルスの影響で来館できない学生や教員に対しては、実費負担で図書や複写物を自宅に送付するなど、柔軟に対応しました。

レファレンスサービスについては、オンライン会議ツールを活用したリモート相談サービス「図書館職員にリモートで聞く!」を令和2年10月から開始しており、自宅からでもカウンターでの対面と同じような感覚で相談できる環境を提供しています。令和3年度は7件(前年度5件)のリモート相談を受けており、新型コロナウイルスの影響で来日できない外国人留学生からの資料探しの相談にも対応しました。

### ● 学習・教育支援

従来対面型で開催していた講習会等は主としてオンラインで開催し、ソフトウェア操作実習等を伴う一部の講習会のみ、人数制限を設け対面で開催しました。オンラインで開催した「文献の探し方講習会」は、過去最大の受講者数(598名)を記録しました。また、令和2年度に開講できなかった学部1年生向けのレポート講座・実験レポート講座・プレゼン講座について、学部2年生も対象に加えオンラインで実施し、計643名が受講しました。

図書館TA(Cuter)による学習相談は、感染症対策を徹底した上で対面相談を実施するとともに、令和2年度に開始した図書館ウェブサイト上の質問フォームからの学習相談も継続しました。



オンライン講習会配信中

## 図書館TA (Cuter) と協働した学習支援活動により国立大学図書館協会賞を受賞

附属図書館学術サポート課が「図書館TA (Cuter) と協働した学習支援活動による図書館サービスの高度化」の功績により、令和3年度国立大学図書館協会賞を受賞しました。同賞は、図書館活動における功績や図書館・情報学研究に顕著な業績をあげた個人やグループに対し授与されるもので、九州大学附属図書館の受賞は今回5回目です。

図書館TA (Cuter) は、図書館職員と協働して学習支援に取り組む大学院生です。平成24年3月よりピアサポート活動を開始し、令和元年10月に本学の新たな制度における「アドバンス・ティーチング・アシスタント (ATA)」に位置付けられました。図書館と学生の懸け橋としての役割を担うとともに、多様な経験を将来の進学や就職に向けた自身のトレーニング機会に役立てています。

今回の受賞では、学習法指導や進路相談のような図書館職員による直接的な支援が難しい領域に、図書館TA (Cuter) の専門知識や経験を生かせるよう、学生協働の運営体制や活動内容を体系的に整備し、学

習・教育・研究を支援する拠点としての図書館機能を高度化するとともに、学内関連部署や教員とも積極的に連携して大学における図書館のプレゼンスを高めることに寄与し、活動の持続可能性を担保したことが「同種の事例を上回る活動の体制、範囲、内容を実現しており、特に傑出した成果」として高く評価されました。



受賞記念メダル



図書館TA (Cuter)

## 医学図書館改修

医学図書館は施設の老朽化改善・機能強化のため令和3年8月～令和4年3月に改修工事を行いました。令和3年5月より一時閉館し、同年6月から生体防御医学研究所4号館2Fにて約2万冊の学生用図書と38席の学習閲覧室を持つ仮設図書館を開設し、規模を縮小してサービスを提供しています。また約30万冊(約21,000箱)の資料は協力を得た学内の様々なスペースで一時保管しています。

工事後、書架の設置や什器を準備し令和4年10月にグランドオープンを予定しています。



改修工事の様子



仮設図書館 閲覧室

## 中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト

遠いアフガンの地で35年に渡り医療・水事業・農業に心血を注いでこられた故・中村哲医師(1946-2019.九州大学医学部卒)の志を次代に伝えるために、令和2年度に久保千春前総長の発案で立ち上がった本プロジェクトは、事務局を附属図書館内に置き、組織的な取り組みが始動しました。中村医師の活動母体であり、現在も現地活動の支援を続けるベシワール会との相互協力協定の下、「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」、「中村哲著述アーカイブ」、「中村哲記念講座」の3つを柱とし、理事・副学長、学内の教員や関連部署が連携して取り組みを行っています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/nakamuratetsu>

### ● 中村哲記念講座の開講

令和3年度より、基幹教育総合科目「中村哲記念講座」が開講しました。籀木政彦教育担当副学長が担当し、中村哲医師の生涯を学び、その仕事の意味を考えることを通して、自分の学びの意味を深めることを目的としています。授業は、TAの学生による授業サポート、図書館職員による実施サポートにより、中央図書館きゅうとコモンズとオンラインのハイブリッド形式で行われ、初年次学生を中心に様々な学部から32名が受講しました。前半は、長年にわたり氏と共に現地活動を支えてこられた村上優ベシワール会会長、藤田千代子PMS支援室長、文化人類学の視点から中村哲医師の活動の意味を問う清水展関西大学特任教授の3名による講演、後半は、サポート役のTAとともにグループワークを行いました。授業の様子は、TAがnote.comにて発信しています。

[https://note.com/dr\\_nakamura](https://note.com/dr_nakamura)

### ● 中村哲著述アーカイブ(令和3年3月公開)

本アーカイブでは、ベシワール会報の全号(1984~)をはじめ、現地からのメール報告、新聞・雑誌記事など、氏が著したあらゆる文章、発言、記録に加え、写真や図面なども蓄積し、インターネット上で公開しています。

8月のアフガニスタン政変時には、常に現地の目線に立ってきた氏の活動や発言が改めてメディア等でも取り上げられ、アーカイブへのアクセス数が急激に増加しました。

アーカイブ公開から1年を機に、氏の著書を多数出版してきた図書出版石風社の許諾を得、著書の本文データの公開も始めました。

### ● 国内外への発信

中村医師の現地活動と本学の取組みを発信するため、プロジェクトウェブサイトおよびTwitterアカウントを立ち上げました。また、本学広報本部サイエンスコミュニケーターの協力を得て、ウェブサイトの英語版や、メモリアルアーカイブの英語版リーフレットを作成するなど、国際的な発信にも力を入れています。

### ● 座談会「中村哲先生のスピリットを継承する」

本プロジェクトと並行して、九大生を中心とした学生有志の団体「哲縁会」や、母校である福岡高校の生徒たちが結成した「ベシワール班」など、氏の志を繋いでいこうとする若い世代も活動を始め、情報共有や連携をしながら取り組みを進めています。

令和4年3月には、座談会「中村哲先生のスピリットを継承する」を開催しました。立場や年代の異なる関係者が集い、氏について語り、様々な視点を分かちあうことを目的としたもので、氏と活動を共にしてきたベシワール会・PMS支援室のメンバーや現地ワーカーOB、長年取材してきた報道関係者や古いご友人、そして「哲縁会」「ベシワール班」、本プロジェクトに関係する本学教職員など、約30名が参加し、グループに分かれて語り合いました。

短い時間ではありましたが、関わる者同士が繋がり深め合う機会を潤らさないようにすることも、本プロジェクトの役割のひとつであると改めて確認できる時間となりました。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/news/47717>



中村哲記念講座



座談会の様子

## オープンサイエンスの推進

### ● 研究データ管理・利活用を支援する組織の整備

「第6期科学技術・イノベーション基本計画」(2021.3.26閣議決定)において、新たな研究システムの構築として、オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進が掲げられ、適切な研究データ管理と利活用に関する早急な基盤整備が求められています。

本学では、令和元~2年度にかけて、情報統括本部の下に、情報担当部署や研究推進部署、IR室、図書館、情報基盤研究開発センター等のメンバーからなる「研究データ管理基盤検討タスクフォース」を設置し、研究データ管理・公開の基本的考え方、システムの要件と規模、人的支援サービス、管理・運用体制について検討を行ってきました。この検討を基に、令和3年度は、研究データ管理・利活用を支援する組織の整備を進

め、九州大学指定国立大学法人構想の下、データ駆動イノベーション推進本部(DX推進本部)の一部門として、「研究データ管理支援部門」を令和4年度より設置することが決定しました。

附属図書館は、本学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻や関連部署との連携により、本部門で中心的な役割を担うこととなります。

### ● 研究データの公開

助成機関等の要請やオープンサイエンスの機運の高まりから、研究データを公開したいという要望も学内各所から寄せられています。データを公開する九州大学学術情報リポジトリQIRの機能向上や運営指針の対応などを進めています。(p.12を参照)

# Topics

## レファレンス協同データベース「レファレンス事例」での一般公開を開始

令和3年9月に「九州大学附属図書館におけるレファレンス事例の登録・公開指針」を策定し、レファレンス事例の一般公開を始めました。

附属図書館では、資料の所在、文献調査、事項調査、検索ツールの利用方法など、図書館員がお手伝いするレファレンス・サービスを実施しています。このレファレンス・サービスにおける質問・回答の事例の一部について、全国の図書館のレファレンス・サービスの向上や、一般市民による

調査・研究に広く資するよう、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに「レファレンス事例」として積極的に登録し、一般公開を行っています。

令和3年度は、22件の事例の一般公開を行い、そのうち1件が「レファ協PickUP!」に掲載されました。

## 貴重文物講習会再開

九州大学が所蔵するコレクションを学内外の皆様にご活用いただくことを目的に、平成23年3月を最後に休止していた貴重文物講習会を再開しました。貴重文物講習会は、主に附属図書館が所蔵する様々なコレクションについて、内容や価値、九大が所蔵するに至った経緯、活用事例等について、各コレクションに関わる学内外の講師にご講演いただく連続講座です。令和3年度は2回の貴重文物講習会を実施しました。

第43回「唐・玄宗『紀泰山銘』の原拓資料と銘文の概要」では、中央図書館が受け入れた唐・玄宗「紀泰山銘」の原拓資料について、寄附者の竹村則行名誉教授にご講演いただきました。

第44回「武谷椋亭の足跡—武谷文庫からみる幕末福岡藩の医事」では、武谷文庫に遺された史料をもとに、武谷椋亭が幕末福岡藩の医事にどのように関わったかについて、大学文書館の赤司友徳准教授にご講演

いただきました。(p.7を参照)

いずれもオンラインでも開催し、学内外の多くの方にご参加いただきました。

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/gallery/lecture>



竹村則行名誉教授(第43回貴重文物講習会)

## 中央図書館貴重資料デジタル撮影・画像提供サービス開始

「九州大学附属図書館文献複写規程」を改正し、中央図書館の貴重資料の複写サービスに新たな方式を加えました。貴重資料のデジタル撮影・画像提供サービスです。これまで、デジタル化されていない貴重資料の画像を入手したい場合は、申請者ご自身での来館撮影などの限られた方法しかありませんでした。令和4年2月からは、中央図書館の貴重図

書・準貴重図書の複写を希望される場合、図書館職員が撮影を行ったデジタル化画像を有償で受け取ることができます。なお、本サービスにより撮影したデジタル化画像については、一定期間経過後、広く世界の学術研究の発展に資するよう、本学の貴重資料デジタルアーカイブで公開する予定です。

## 九州大学デジタル資料整備事業開始

令和3年4月より九州大学基金の用途特定プロジェクトとして「九州大学デジタル資料整備事業」を開始しました。本事業は、デジタル資料等の学習・教育・研究環境の一層の充実をはかるとともに、貴重書等の保存とデジタル公開を促進するため、広くご支援をお願いするものです。ご希望により、支援したい図書館を指定することや、デジタル化したい貴重書を選ぶことができるなど、寄附者様の思いを、支援の形につなぐことができることが特徴です。 <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/kikin/>

事業内容  
 1. デジタル資料を中心とする学術コンテンツの整備・充実  
 2. 本学附属図書館が所蔵する貴重書等のデジタル公開の促進  
 3. 図書館における利用環境整備・充実

ご支援の特典  
 図書館オリジナルグッズ ほか



パンフレット

## 九州大学附属図書館オリジナルグッズ発売

附属図書館のコレクションから厳選したイチ押し資料をモチーフとし、九州大学附属図書館オリジナルグッズを制作しました。附属図書館が蒐集してきた世界的に珍しい貴重書や、九州・福岡ならではのユニークな資料を活かし、手ぬぐい、鉛筆、クリアファイル等、他では手に入らないオリジナルグッズを仕立てました。

九州大学生協同組合にてお求めいただけるほか、九州大学基金「九州大学デジタル資料整備事業」にご寄附いただくことでも入手いただけます。



貴重資料をモチーフとしたオリジナルグッズ

## 付設記録資料館の活動

令和2年9月に、付設記録資料館は、産業経済資料部門、九州文化史資料部門、法制資料部門、古文書・古記録部門に加えて、麻生家文書研究部門が新設されることになりました。これら5部門は、それぞれ所属資料群の性格を異にしており、一部の資料については、他の資料館・博物館などに展示のための貸出を行っております。

産業経済資料部門では、令和3年3～5月に、神奈川県立近代文書館の「永遠に「新青年」なるもの」に、夢野久著作『ドクラ・マグラ』の草稿の貸出を行いました。なお、この展示会は、当初、令和2年に開催される予定でしたが、コロナ禍の影響から延期したものです。

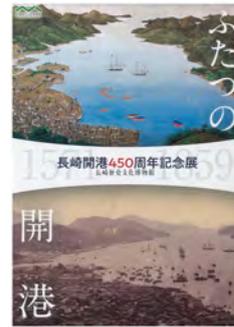
九州文化史資料部門では、令和3年1～2月には、北九州市立自然史・歴史博物館で開催された「名刀「博多藤四郎」の輝き」に、「黒田一成公略伝 巻四」（三奈木黒田家文書）を、4～6月には、長崎歴史文化博物館「長崎開港450周年記念展 ふたつの開港」に「長崎大火事之覚」（宇土細川家文書）、「寛永十九年平戸町人別生所札」・「平戸町宗旨改帳」（松木文庫）、「長崎割記」（古賀文庫）を貸出しております。また、10～11月には、北九州市立自然史・歴史博物館の「鉄の都のものがたり」に

古野家文書を貸出しました。

以上のように、記録資料館では、これまで蓄積してきた膨大な資料群を、調査・研究に活用するのみではなく、各種展示などのために、貸出を行っています。所蔵資料の貸借の可否などについては、各部門あてにお問い合わせください。



永遠に「新青年」なるもの



長崎開港450周年記念展 ふたつの開港

## 付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

### 1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

基幹教育院をはじめとした各部局との連携及び学生協働により、日本史学教材、中国文学教材、放射線治療トレーニング教材、歯科治療トレーニング教材、留学生向け日本語学習教材など、3次元CGやウェブ技術を活用した双方向型電子教材の開発を過年度より継続して実施しています。また、令和2年度より開始した国立台湾師範大学・科学教育センターとの共同研究では、九州大学が開発したゲーム教材の英語化や中国語（繁体）化を行いました。開発した教材は順次公開しています。



環境問題を扱うゲーム教材 (EcoSwitch) の中国語（繁体）版

### 2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会、各種イベント等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、Podcast、OCWにより令和4年3月末現在1,500件以上の動画等を学内外に広く公開しています。また、平成30年度から始まった高校生対象の教育プロジェクト「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト (QFC-SP)」のオンライン授業向け講義収録とライブ配信等を担当しました。

平成26年度から継続して制作・開講しているJMOOC講座は、今年度

「海洋プラスチック汚染」を開講しました。受講者数は1,080名で歴代2位の数で、修了者数は446名で41%という高い修了率となりました。また、次のJMOOC講座の取り組みを開始し、令和4年度夏季に開講する予定です。

平成28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」(第一期:先生の森【動画版】、第二期:九大百家)制作を継続して実施しています。



代表的研究者紹介ビデオの第二期「九大百家」のページ

### 3. 電子教材の著作権に関する取り組み

例年、電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして実施していますが、令和2年度と同様にオンライン開催(47名参加)としました。令和3年度本格的に運用開始となりました「授業目的公衆送信補償金」制度の内容についても解説しました。本制度に関する相談対応もしています。

### 4. 教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に係る取り組み

平成29年度に設置された「九州大学教育改革推進本部」の「教育方法・教材開発部門」に係る取組として、ICT活用教育の啓発を目的に「電子教材開発者向け講習会」をオンライン開催(27名参加)し、教材開発センターの電子教材開発の取り組みについて報告しました。また、「ラーニングアナリティクス部門」が開催した「M2B講習会」にて教材開発センターの活動報告をしました。さらに、令和3年度から「360度VR動画制作講習会」をオンライン開催(4名参加)しました。

# 展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

## 武谷椋亭生誕200年記念展示・講演会

### ● 電子展示「緒方洪庵と武谷椋亭」

【期 間】令和4年1月11日(火)～  
 【会 場】九州大学附属図書館Webサイト  
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/takeya>  
 【監 修】松永和浩(大阪大学適塾記念センター 准教授)、赤司友徳(九州大学大学文書館 准教授)  
 【共 催】大阪大学適塾記念センター、適塾記念会、大阪大学総合学術博物館、九州大学医学歴史館、九州大学附属図書館、九州大学大学文書館  
 【協 賛】九州大学医学部同窓会  
 【協 力】福岡県立図書館、福岡市博物館市史編さん室

### ● 小展示「武谷文庫の紹介—九州大学と武谷家」

【期 間】令和4年1月11日(火)～2月16日(水)  
 【会 場】九州大学中央図書館3階エントランス

### ● 講演会「武谷椋亭の足跡—武谷文庫からみる幕末福岡藩の医事」(第49回附属図書館貴重文物講習会)

【日 時】令和4年1月26日(水) 13:00～14:30  
 【会 場】九州大学中央図書館4Fきゅうと commons(オンライン同時配信)  
 【講演者】赤司友徳(九州大学大学文書館 准教授)  
 【参加者】65名(対面11名/オンライン54名)  
 【資 料】<http://hdl.handle.net/2324/4751324>

武谷椋亭生誕200年記念 大阪大学・九州大学巡回展「緒方洪庵と武谷椋亭」(大阪会場:令和2年11月17日(火)～29日(日)、九州会場:令和4年4月開催予定)の関連企画として、同展示会を電子展示として再構成して公開し、あわせて小展示、講演会を開催しました。

附属図書館では、九州大学と武谷家の寄託契約にもとづき、現在中央図書館で所蔵している福岡の医家・武谷家の史料群「武谷文庫」の調査・整理・研究を進めています。また、福岡市博物館市史編さん室の協力により、武谷文庫の一部を電子化し、貴重資料デジタルアーカイブ上で公開しました。今回の企画は、これらの成果を活用したものです。

緒方洪庵(1810-63)が天保9年(1838)に大坂で開いた適塾と武谷椋亭(1820-94)が提挙(校長)を務めた福岡藩の医学学校・養生館はそれぞれ、大阪大学・九州大学(医学部)の歴史に深く関わっています。本展示会では、洪庵と椋亭の関係を、解剖・種痘・蘭書・訳書等の観点から紹介し、武谷文庫の調査の過程で明らかになってきた椋亭の仕事ぶりや、福岡藩内の医事や養生館の様子などについても紹介しています。

講演会では、武谷文庫に遺された史料をもとに、椋亭が幕末福岡藩の医事にどのようにかかわり、近代化の過程でどのような役割を担ったのかについて、展示監修の赤司友徳先生にご講演いただきました。コロナ禍で多くの対面参加はかなわなかったものの、オンライン同時配信を行ったことが幅広い層の参加につながり、オンライン参加者からは「ご講演と電子展示を並行して参照できるのが大変わかりやすかった」といった声も聞かれ、一連の企画を効果的に実施することができました。



電子展示  
「緒方洪庵と武谷椋亭」



小展示「武谷文庫の紹介—九州大学と武谷家」



講演会「武谷椋亭の足跡—武谷文庫からみる幕末福岡藩の医事」

## ライブラリーサイエンス専攻シンポジウム

### ● 情報管理組織のミッションと専門職養成

【日 時】令和3年11月27日  
 【会 場】中央図書館きゅうと commons、オンライン  
 【主 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻・九州西洋史学会  
 【共 催】九州大学附属図書館、九州大学大学文書館、九州歴史科学研究会

統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻や九州西洋史学会の主催で、図書館における専門性の向上を目的としたオンラインでのシンポジウムを開催しました。

「情報管理組織のミッションと専門職養成」では、デジタル時代に求められる司書やアーキビストの専門性についての報告及びディスカッションが行われました。

資料は九州大学学術情報リポジトリにて公開しています。  
<http://hdl.handle.net/2324/4738541>

### ● 図書館と社会融合:社会に開かれた情報資源

【日 時】令和3年12月4,6,7日  
 【会 場】中央図書館きゅうと commons、オンライン  
 【主 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構文化変動クラスター  
 【共 催】九州大学附属図書館、九州大学人系系 commons

「図書館と社会融合:社会に開かれた情報資源」では、図書以外の資料の収蔵や利活用に関心を向け、社会に開かれた情報資源の拠点という図書館の役割を再検討することをテーマに、3日間で4つのセッションが開かれました。



## 図書館TA (Cuter) 企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA (Cuter) が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

### 〈主なイベント〉

#### ● Cuter Café

図書館TA (Cuter) が特定テーマについて取り上げるシリーズ企画です。令和3年度は、「九大での学生生活にどう取り組むか」「よりよく話したい人のために」「はじめてのR講座」「はじめてのLaTeX講座」「魅せるグラフの作り方」「名著への扉を開く会」「Climate Fresk@九大」「学振 (DC1/DC2) 申請書個別相談会」など、多様なテーマで計11回開催しました。

#### ● Quricon

学部・学府・学年の垣根を越えて研究交流を図る学際交流イベントです。学生の卒業等に伴うイベント実行委員の減少を受け、令和3年4月に附属図書館がQuricon実行委員会に加入して以来、初の開催となりました。「『こころ』とは何か?」「サステナビリティを語ろう」の計2回をいずれもオンラインで開催しました。

#### ● ジェンダー展 in 中央図書館

九州大学芸術工学研究院・社会包摂デザインイニシアティブとの共催による企画展示を実施しました。「ことば」と「ファッション」をテーマとしたアート作品に関連書籍とともに展示し、ジェンダーに関する学びと気づきの機会を提供しました。



ジェンダー展 in 中央図書館

## 理系図書館での展示

理系図書館では、エントランスを展示スペースとして活用しています。図書館TA (Cuter) によるおすすめ本展示の他、大学図書館には専門書以外にも様々なジャンルの図書があることを知ってもらうため、職員によるおすすめ本展示も随時行っています。

さらに令和3年度は学生サークル・団体による作品展示も行い、コロナ禍で活動制限を余儀なくされている学生たちへの支援にもつながりました。

#### ○ 学生団体による作品展示

- 令和3年11月 折り紙同好会ORUTO
- 令和4年1月 模型部

#### ○ 職員によるおすすめ本展示

- 令和3年8月 きれいな本
- 令和3年10月 ハロウィン関連図書
- 令和3年12月 Happy Holidays! 関連図書



折り紙同好会ORUTOの作品



HappyHolidays! 関連図書



きれいな本

## 芸術工学図書館「サイエンス・プランター」

芸術工学図書館ではサイエンスカフェ形式で気軽な雰囲気のセミナー「サイエンス・プランター」を開催しています。本セミナーでは芸術工学部の教職員や学生が行う研究や活動を紹介し、新たな興味の『芽』を育むことをコンセプトとしています。〈令和3年度 1回開催〉

- 【日 時】令和3年12月10日
- 【会 場】九州大学芸術工学図書館1階AIVEA
- 【講演者】増田展大講師(コンテンツ・クリエイティブデザイン部門)  
「視覚文化としてのデザイン-写真の歴史から考える」  
※所属肩書は開催時
- 【参加者】12名



サイエンス・プランターの様子

# 国際化 Internationalization

## 留学生向け文化紹介・交流イベント:七夕編・節分編

留学生センターおよび国際部留学課と協働で、コロナ禍で来日できず自国でオンライン受講している留学生への支援として、文化紹介・交流イベントを7月と2月に開催しました。

7月5日の七夕編では、SIJ (Summer in Japan) プログラムの留学生を対象として、図書館職員が英語で七夕についてのレクチャーを行い、留学生(オンライン参加)と図書館に集合した図書館TA (Cuter) ほか日本人学生が「あなたの国・地域の縁起物」をテーマに交流するグループトーク等を行いました。2月3日の節分編では、JTW (The Japan in Today's World) プログラムの留学生を対象として、図書館職員と日本人学生による豆まきデモンストレーション、節分レクチャー、「長い」食べ物」をテーマとしたグループトーク等を実施しました。

図書館でのオンライン・対面混合での留学生と日本人学生の交流イベントは初の試みで、コロナ禍での新しい挑戦となりました。参加者は13か国88名にのぼり、「とても魅力的なプログラムだった」「グループトークで楽しくお互いの国の文化に触れられたのがとても有意義だった」と大変好評で、国を超えての移動が制限される中で、留学生のみならず日本人学生にも充実した時間を提供することができました。



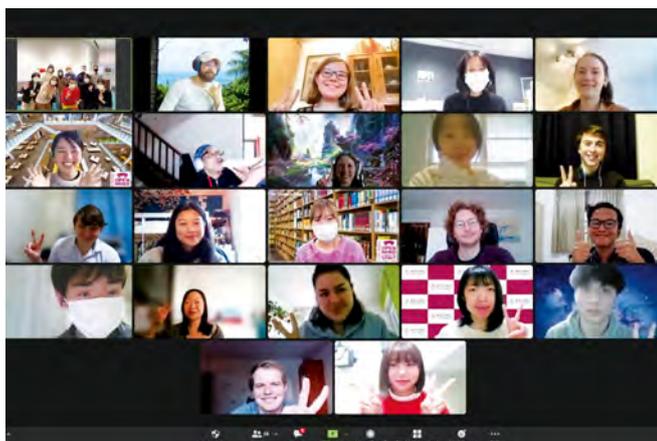
七夕の笹飾り(中央図書館玄関)前から配信



節分の豆まきデモンストレーション



グループトークの様子



スクリーンショットで記念撮影

## 国際会議等へのオンライン参加

【参加者】渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)  
【日程】令和3年4月13日~4月16日  
【会議】ACRL 2021 Conference (Online)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授),  
渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)  
【日程】令和3年6月23日~6月29日  
【会議】2021 ALA Annual Conference & Exhibition  
(Online)

【参加者】清水 敏之(研究開発室准教授)  
【日程】令和3年8月16日~8月20日  
【会議】VLDB 2021 (Hybrid)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授),  
渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)  
【日程】令和3年12月1日~12月3日  
【会議】ICADL 2021 and AP-iConference (Online)

【参加者】清水 敏之(研究開発室准教授),  
石田 栄美(研究開発室准教授),  
渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)  
【日程】令和4年2月28日~3月4日  
【会議】iConference 2022 (Online)

## ◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。令和3年度は、新型コロナ

### 〈注目の講習会〉

#### ● レポートの書き方講座／実験レポート講座／プレゼン講座

基幹教育の授業支援として図書館TA (Cuter) と協力して開催している講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA (Cuter) と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。令和2年度は対面型での開催を中止したため、令和3年度は学部1,2年生を対象として、初めてオンラインで実施しました。その結果、レポート講座およびプレゼン講座では、開催1回あたりの受講者数が過去の対面講座と比較して最多となりました。eラーニング教材も令和2年度より継続して提供しました。

#### ● 文献の探し方講座

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会です。中央・理系・医学図書館が連携し、受講者の専門分野に応じた講習を提供しています。留学生を対象に英語での講習も行っています。令和3年度は初めてオンラインで実施し、前期・後期の受講者数合計が過去最大の598名を記録しました。

#### ● 夏の集中講座

理系の学部4年生以上を対象に、論文の効果的な探し方や文献整理法を説明する講習会です。授業のない夏休み期間中に実施するため、すぐに満席となる人気の講習会となっています。令和3年度は時間を短縮して対面で実施し、22名が受講しました。

## ◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。平成25年3月の正式公開以来、図書館職員や図書館TA (Cuter) が様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

### 図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 211点 (令和4年3月31日現在)

アクセス数 1,454,019ページビュー (令和3年度)



### 〈令和3年度に公開した主なガイド〉

#### ● 2020年ノーベル化学賞!! 最新のゲノム編集技術「CRISPR/Cas」について

ノーベル化学賞を受賞した「CRISPR/Cas」という免疫獲得システムについて紹介したガイドです。CRISPR/Casの原理や、医療・食品分野での応用、安全性や倫理的な問題など、幅広い知識を得ることができます。

ナウウイルスの影響が続く中、主にオンラインで講習会を開催しました。「オンデマンド」の講習会でも、教職員からの要望に応じ、対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド講習や図書館紹介資料の提供により、遠隔授業の実施に協力しました。

## 令和3(2021)年度実績

### ●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
伊都(中央)	7	74	12	3,091	19	3,165
伊都(理系)	6	60	15	402	21	462
病院	8	32	6	199	14	231
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	51	1,547	0	0	51	1,547
合計	72	1,713	33	3,692	105	5,405

### ●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
伊都(中央)	28	62	3,064	1	10	3,165
伊都(理系)	13	147	301	1	0	462
病院	59	22	150	0	0	231
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	144	461	869	73	0	1,547
合計	244	692	4,384	75	10	5,405

### ●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	95	5,185
英語	10	220

### ●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	79	4,556
Cuter	13	561
図書館職員・Cuter	5	82
外部講師	8	206

### ●eラーニング教材

講座名	実施言語	講師	受講者数
レポートの書き方講座	日本語	Cuter	253
実験レポート講座	日本語	Cuter	69
プレゼン講座	日本語	図書館職員・Cuter	32
文献の探し方講座	日本語	図書館職員	76
How to search for academic papers	英語	図書館職員	16

#### ● オーロラの不思議

身近な宇宙現象であるオーロラについて解説したガイドです。発光原理や、オーロラが生活に及ぼす影響、オーロラを応用した最新研究について解説しています。

#### ● ヨーロッパ文学の〇〇主義って何?:中世ヨーロッパの文学

啓蒙主義、古典主義、ロマン主義など、文学潮流の「〇〇主義」を思想的・歴史的背景と共に概略する長編ガイドの第1弾として、中世ヨーロッパの文学の代表作『ニーベルンゲンの歌』『アーサー王物語』について取り上げています。

#### ● 図書館TA (Cuter) に研究術をきいてみた

専門分野の異なる図書館TA (Cuter) たちが、日々どのように研究を進めているのか、論文の探し方・論文の読み方・その他研究で工夫していることについてまとめたガイドです。

## 新規コレクション

### ◆寄贈コレクション

#### ●近現代音楽文化コレクション

嶋田洋一郎名誉教授よりご寄贈いただいた図書および雑誌約3800件です。令和3年度に整理が完了し利用可能になりました。中央図書館に配架をしています。

近現代音楽文化コレクションは、近代から現代の日本の「うた」に関するコレクションで、「うた」そのものからそれを表現する人に関するもので、幅広く資料が収集されています。



コレクションの一部

## デジタルコンテンツ

#### ●貴重資料のデジタル化・公開

来館できない利用者の求めに応じて、迅速に貴重資料のデジタル化を行い公開するとともに、オンラインイベントの一環として電子展示会を開催し、多くのデジタル化画像を新規に公開しました。

また、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(平成26～令和5年度)の連携拠点大学として、本年度は和本1,552点2,420冊をデジタル化しました。同資料館の新日本古典籍総合データベース及び当館の「九大コレクション」から順次公開します。

#### 〈令和3年度の主な新規公開コンテンツ〉

- ・演文庫戯単(芝居番付)コレクション 191点
- ・仙厓和尚の絵画作品 28点
- ・武谷椿亭生誕200年記念展示 275点
- ・春日政治・和男文庫 179点
- ・清末文書 5点
- ・甘雨亭叢書 14点
- ・ほか、桑木文庫 等

令和3年度の公開点数：1,246点54,081コマ  
累積の公開点数：8,479点 438,381コマ (令和4年3月31日現在)  
利用件数：110,110件(令和3年度)



「新新大戲院 戯単 [民国26年9月11日] 白天」  
(演文庫戯単コレクション)  
<http://hdl.handle.net/2324/4483333>

演文庫戯単コレクションでは、1934-1939年ごろの北京を中心とした、中国各地の劇場の戯単、ポスター等および、映画館の小冊子を公開。演目や演者などから検索することができる。

## 仙厓和尚の禅画の高精細画像公開

ユーモラスな禅画で知られる「博多の仙厓さん」こと仙厓義梵和尚(寛延3年(1750)～天保8年(1837))の書画の高精細デジタル画像28点を、貴重資料デジタルアーカイブにて公開しました。今回公開した書画は、九州大学医学部の教授を勤めた中山森彦博士(1867-1957)が蒐集したコレクションで、九州大学文学部に寄贈され、現在福岡市美術館に寄託されています。仙厓和尚の絵画は非常に人気が高く、これまでも問

い合わせが度々寄せられていましたが、パブリックドメインとして画像を公開することで、自由な二次利用が可能となりました。

また、これに合わせ、平成20年に開催された第49回附属図書館貴重文物展示「中山森彦と仙厓展：博士が集めたコレクション」図録を再構成した電子展示「中山森彦と仙厓展」を、附属図書館ウェブサイトから公開しました。



「河豚図」(仙厓作品)  
<http://hdl.handle.net/2324/4495604>



電子展示「中山森彦と仙厓展」  
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/exhibition/sengai>

## 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

オープンアクセスの歩みとともに、令和3年4月14日に開設15周年を迎えました。令和4年3月にはコンテンツ数が5万件を突破しました。

令和3年度新規登録件数 4,431件  
 うち  
 > OA方針対象コンテンツ 3,247件  
 > Q-RADeRSからの登録 547件  
 累積登録件数 50,292件(令和4年3月31日現在)  
 利用件数 2,217,121件(令和3年度)  
 ※OA方針対象コンテンツ: 学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文



### 〈令和3年度に登録した特長のあるコンテンツ〉

『はじめての研究データ管理：研究室の日常から』(九州大学附属図書館)

研究データ管理・公開に関する研究者への啓発活動に用いるためのeラーニング教材です。CC0ライセンスで公開され、自由に改変できます。  
<https://hdl.handle.net/2324/4476054>

### 〈令和3年度に公開した主なバックナンバー〉

『九州大学大学院理学研究院研究報告. 地球惑星科学』(九州大学理学研究院) 1-22巻(昭和16(1941)-平成21(2009)年) ※九州帝国大学時代の創刊時からの全バックナンバーを含む昨年度公開した欧文の紀要に続いて、和文の紀要を公開しました。

『比較社会文化研究』(九州大学大学院比較社会文化研究科) 1-35号(平成9(1997)年-平成26(2014)年)

『韓国経済研究』(韓国経済研究編集委員会) 1-18号(平成13(2001)年-令和3(2021)年)

『九州大学情報統括本部ITだより』1-19号(平成19(2007)年-令和2(2020)年)』

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電子化作業に従事するアルバイト学生が在宅勤務を行いました。



### ● 研究データ対応

#### 運営指針の改正とDataCite DOIの導入

「九州大学学術情報リポジトリ運営指針」を改正し、コンテンツ種別の別表を更新しました。このことでQIRのメタデータをより標準化するとともに、QIRに研究データを登録できることを明確にしました。また、令和2年度欧文の論文に対し国際的な永続的識別であるCrossref DOIの付与を開始したのにつづき、令和3年度は研究データに対して用いられるDataCite DOIの付与を開始しました。国内外のデータ検索サービスでQIR上の研究データが発見されやすくなり、その引用やリンク、評価や再利用の可能性が高まります。

### ● PubMed LinkOut対応

医学・生命科学系分野における代表的な文献抄録データベースPubMedとの連携を開始しました。PubMedの利用者は論文を検索した後、九州大学のロゴが入った「FREE full text」のアイコンをクリックすることでQIR上の本文PDF公開ページにアクセスできます。



# 研究開発室 Research & Development

## 令和3年度研究開発室研究開発事項

### ● 総括

研究開発の総括	久保 智之（附属図書館長、副学長）	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	-------------------	---

### ● I 学習・教育活動との連携に関する分野 I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 石田 栄美（研究開発室） 山田 政寛（基幹教育院） 内山 英昭（特別研究員）	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行うとともに、図書館利用状況の分析にもとづく、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広（付設教材開発センター） 吉田 素文（特別研究員）	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

### ● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文（人文科学研究院） 中里見 敬（言語文化研究院） 永島 広紀（韓国研究センター） 赤司 友徳（大学文書館） 三輪 宗弘（付設記録資料館） 梶嶋 政司（付設記録資料館） 平 将志（付設記録資料館） Wolfgang Michel（特別研究員） 和仁 かや（特別研究員） 古賀 康士（特別研究員） 原口 大輔（付設記録資料館）（協力教員）	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 石田 栄美（研究開発室） 清水 敏之（研究開発室） 畑埜 晃平（基幹教育院） 池田 大輔（システム情報科学研究院） 内山 英昭（特別研究員）	学術情報資源（研究データ等を含む）をより効果的に蓄積・発信するために、管理・発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行うとともに、それらを活用した新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

### ● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美（研究開発室） 岡崎 敦（人文科学研究院）	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
-------------------------------	-------------------------------	---

## 医学図書館改修に伴う貴重古医書の保全対策

改修前の医学図書館は、貴重資料の保存に適した環境が整備できておらず、また帙の無い和漢古医書や表紙の取れかけた洋古医書など手当が必要な資料が多数ありました。

保存環境と資料そのものの改善が必要な状態でしたが、令和3年度の改修工事に伴い、田嶋記念大学図書館振興財団助成金が受けられたことから、「保存容器に入れる・保護紙で包む」を基本とした保全措置を行うこととなりました。これは館内職員の研修も兼ねており、洋古医書については希望者を募り、まず低温殺虫処理や資料計測を実施しました。そして計測作業結果をもとにオーダーメイドの箱を購入し、適切な処置を施

して収納作業を行いました。また和漢古医書については新たに帙を作成し、状態の改善を図りました。

改修後の貴重図書室については、窓をなくして天井と壁には調湿ボードを使用しました。空調も調湿機能のある機種を採用したほか、排気口やドアの隙間から虫が侵入しないような設計としました。今後データロガーを設置して保存環境の状態を調査し、以後適切な管理を行っていく予定です。

## イリノイ大学とのシンポジウム

### ● デジタルトランスフォーメーション(DX)時代のデータキュレーションと情報管理

【日 時】令和3年12月9日(木) 9:00 - 11:30(日本時間)

【会 場】オンライン

【主 催】イリノイ大学情報科学部・九州大学大学院統合新領域学府、イリノイ大学図書館・九州大学附属図書館

【参加者】137名

令和元年8月、本学とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(米国)はお互いを戦略的パートナーシップ校と認識することで合意し、令和3年2

月から「Kyushu-Illinois Strategic Partnership Colloquia Series」を開催してきました。第4回目となる本シンポジウムでは、イリノイ大学アーバナシャンペーン校と九州大学のパートナーシップに焦点を当て、現代の情報氾濫がもたらす、研究・教育の課題への対応策等をテーマに開催しました。イリノイ大学におけるデータキュレーションの事例や、九州大学における研究データ管理実現への取組について、プレゼンテーション及びパネルディスカッションを通して国境を超えた活発な議論が行われました。

資料は九州大学学術情報リポジトリ(QIR)で公開しています。

<http://hdl.handle.net/2324/4738597>

## ソウル大学校との職員交流プログラム

【日 程】令和3年6月18日(金) 10:00-12:00

【形 式】オンライン

【参加者】九州大学附属図書館3名

ソウル大学中央図書館2名

ほか、オブザーバー参加など数名

本学は、ソウル大学校との関係強化を目指しており、令和3年には第2回目のジョイントシンポジウムをオンライン形式で開催しています。本シ

ンポジウムは、6月17日から25日のおよそ1週間にかけて、様々な研究テーマでの分科会、学生によるビデオコンテスト、部署ごとの職員交流などを実施し、大学全体での交流発展を促すものです。

附属図書館では、同シンポジウムにおいて、ソウル大学校からの希望を受け、職員交流プログラムに参画しました。ドキュメントデリバリーサービスをテーマに、図書館の取り組みについてプレゼンテーションおよび質疑応答を行いました。著作権法改正の影響に高い関心が寄せられ、文献の電子配信に関するお互いの国の状況について見識を深めるとともに、今後の良好な関係作りへと繋がる有意義な機会となりました。

## 令和3年度国立大学図書館協会地区協会助成事業「図書のカビ対策及び水損資料レスキュー」

【開 催 日】令和3年12月10日(金)

【実施方法】オンライン

【主 催】九州地区国立大学図書館協会

【共 催】九州地区大学図書館協議会

【参加申込者】55名

国立大学図書館協会地区助成事業として、「図書のカビ対策及び水損資料レスキュー」をオンラインで開催しました。

収蔵環境や水害等により発生したカビ被害や水損を受けた資料をどのように処理するかは各大学図書館において喫緊の課題となっています。本セミナーでは、図書に発生するカビの予防及び対策や水損資料へ

の応急処置等についての知識修得および、各図書館における資料保存機能の向上のため開催しました。

受講者からは、「水損に対する具体的な対応策を知ることができた」という声のほか、「実際に水害にあったことがあり、そのときの対応と比べながら確認できた」等、各大学での過去の対応を検証する機会にもなったという感想があり、非常に有意義な会となりました。

また、オンライン形式であるから参加できたという声も多く、今後もあるべく多くの職員が負担なく参加いただけるよう、形式を工夫して継続する意義を実感しました。

資料は下記ウェブサイトで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/materials/kenshu>

## 令和3年度初任者研修

【開 催 日】令和3年5月26日(水)~28日(金)

【実施方法】対面+オンライン講義

【受 講 者】全日程受講者 4名

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。令和3年度は対面とオンラインの同時配信で行われ、オンラインでは初任者以外の職員の部分受講も多くありました。日々の業務を俯瞰できる有意義な機会となりました。

【プログラム】附属図書館の特徴と課題

総務・会計系の業務

収書整理系の業務

教材開発センター・記録資料館 見学

e!ソース系の業務

電子化作業 見学

貴重書室 見学

利用者サービス系の業務

学習・研究支援系の業務

ネットワークとセキュリティ

センパイと話そう

# 統計 = 利用サービス = Statistics

令和3(2021)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		238	219	214	237	238	1,147
	土曜 Saturday		50	0	34	50	50	184
	日曜・祝日 Others		64	0	3	0	64	130
	合計 Total		352	219	251	287	352	1,461
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		16,706	1,903	2,064	3,340	10,770	34,783
	学生 Students		186,360	19,526	17,107	13,362	153,961	390,316
	学外者 Others		1,471	156	217	38	222	2,104
	合計 Total		204,537	21,585	19,388	16,740	164,953	427,203
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		21,640	2,429	2,124	2,210	11,548	39,951
	学生 Students		83,727	3,120	10,166	4,530	49,855	151,398
	学外者 Others		141	302	160	30	52	685
	合計 Total		105,508	5,851	12,450	6,770	61,455	192,034
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		11,237	1,060	945	1,575	6,738	21,555
	学生 Students		45,083	1,746	4,787	3,290	30,480	85,386
	学外者 Others		79	96	71	19	33	298
	合計 Total		56,399	2,902	5,803	4,884	37,251	107,239
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		2,639	2,258	10	18	891	5,816
	学外からの受付(国外) Requests(International)		49	0	0	0	0	49
	小計 Subtotal		2,688	2,258	10	18	891	5,865
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		869	54	100	27	323	1,373
	合計 Total		3,557	2,312	110	45	1,214	7,238
	(うち謝絶) (cancel)		452	730	9	0	76	1,267
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		3,787	3,582	466	249	825	8,909
	学外への依頼(国外) Received(International)		118	63	10	0	88	279
	合計 Total		3,905	3,645	476	249	913	9,188
	(うち謝絶) (cancel)		158	42	33	17	44	294
	NDL閲覧 Browse(NDL)		143	1	7	0	7	158
	NDL複写 Copies(NDL)		195	1	3	0	7	206
合計 Total		338	2	10	0	14	364	
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,685	0	64	5	201	1,955
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		0	0	0	0	0	0
	合計 Total		1,685	0	64	5	201	1,955
	(うち謝絶) (cancel)		433		27	0	10	470
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		1,154	37	62	8	85	1,346
	学外への依頼(国外) Loans(International)		4	0	0	0	0	4
合計 Total		1,158	37	62	8	85	1,350	
(うち謝絶) (cancel)		30	7	0	0	13	50	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		272	37	12	161	187	669
	学生 Students		1,058	10	220	246	1,074	2,608
	学外者 Others		561	29	31	46	83	750
	合計 Total		1,891	76	263	453	1,344	4,027
	所在調査 Holdings		463	13	153	51	352	1,032
	事項調査 Topics		169	14	3	255	55	496
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,259	49	107	146	937	2,498
合計 Total		1,891	76	263	452	1,344	4,026	

文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む  
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

## 電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2021.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	468,777	Nature Site License	561,375
American Institute of Physics (AIP)	68,307	ProQuest Central	40,666
American Physical Society (APS)	36,971	Science online	74,033
Elsevier ScienceDirect	1,569,729	SpringerLink	177,878
IEEE POP	18,531	Wiley Online Library	613,618
JSTOR Arts & Sciences I, II	32,297	合計 Total	3,662,182

\*利用件数にはオープンアクセス論文のダウンロードも含む

## 電子ブックの利用 (主要プラットフォームの利用件数)

E-books

Number of use in major e-book platforms

2021.1.1-12.31

プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access	プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access
EBSCOhost	15,909	ProQuest Ebook Central	7,738
KinoDen	1,219	ScienceDirect	3,543
JapanKnowledge	211,370	SpringerLink	25,246
Maruzen eBook Library	44,540	Wiley Online Library	4,731
Oxford University Press	3,531		

\*利用件数の数値は、各プラットフォームごとで基準が異なる

## 情報検索サービスの利用

Databases

2021.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions	
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	1,558,693	-	
	文献情報 Abstracts & index databases	SciFinder-n	化学	232,277	-
		Web of Science	全分野	247,777	-
		Scopus	全分野	188,978	-
		医中誌Web	医学	149,760	55,899
		Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	53,026	24,543
		Econlit (EBSCOhost)	経済学	52,379	22,756
		CINAHL (EBSCOhost)	看護学	53,507	22,706
		PsycINFO (Ovid)	心理学	2,846	800
		MEDLINE (Ovid)	医学	2,851	530
EBM Reviews (Ovid)		医学	4,618	1,978	
ERIC (Ovid)	教育学	169	59		
事典類 References	JapanKnowledge	全分野	276,850	26,656	
	理科年表プレミアム	自然科学	-	229	
	化学書資料館	化学	-	22,744	
	Oxford English Dictionary	言語	-	3,114	
	研究社オンライン・ディクショナリー	言語	-	1,003	
新聞 Newspaper articles	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	112,788	11,299	
	西日本新聞データベース	西日本新聞	2,979	-	
	毎索	毎日新聞など	13,643	2,588	
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	17,965	-	
その他 Others	Journal Citation Reports	インパクトファクター	13,805	9,622	
	きゆうとLinQ	リンクリゾルバ	309,300	-	
	きゆうとE-Journals	電子ジャーナル集	26,655	-	
	マイページ	図書館ポータル	-	324,655	

## 学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

令和3(2021)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			8,272	1,641	3,527	977	14,417
理系図書館 Science and Technology Lib.		7,748		977	1,277	1,087	11,089
医学図書館 Medical Lib.		2,239	1,092		412	249	3,992
芸術工学図書館 Design Lib.		3,581	1,319	355		194	5,449
筑紫図書館 Chikushi Lib.		1,154	1,093	254	207		2,708
計 Total		14,722	11,776	3,227	5,423	2,507	37,655

# 統計 = 基盤サービス = Statistics

## ■ 図書・雑誌 (冊子体) の受入 Current acquisitions of materials

令和3(2021)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	11,150	1,954	13,104	580	48	628
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	3,400	1,141	4,541	1,575	163	1,738
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	235	119	354	348	70	418
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	2,496	1,108	3,604	557	250	807
	経済学研究院 Faculty of Economics	731	332	1,063	391	127	518
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	771	158	929	69	11	80
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	946	277	1,223	11	16	27
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	162	87	249	5	0	5
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	0	0	0	0	0	0
	小計 Central Library Total	19,891	5,176	25,067	3,536	685	4,221
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	484	19	503	476	69	545
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	58	1	59	46	4	50
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	9	11	20
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	0	0	8	0	8
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	4	2	6	159	45	204
	小計 Medical Library Total	546	22	568	698	129	827
芸術工学図書館 Design Library	1,093	291	1,384	289	35	324	
建築図書館 Chikushi Library	建築図書館 Chikushi Library	526	130	656	104	5	109
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	2	2	10	0	10
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	6	3	9
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	526	132	658	121	8	129
理系図書館 Science and Technology Library	理系図書館 Science and Technology Library	2,984	923	3,907	102	17	119
	理学研究院 Faculty of Science	33	51	84	47	28	75
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	92	2,343	2,435	28	289	317
	工学研究院 Faculty of Engineering	89	11	100	99	66	165
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	64	55	119	25	17	42
	農学研究院 Faculty of Agriculture	273	268	541	337	243	580
	小計 Science and Technology Library Total	3,535	3,651	7,186	638	660	1,298
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	0	0	0	
記録資料館 Manuscript Library	45	0	45	52	0	52	
合計 Total	25,636	9,272	34,908	5,334	1,517	6,851	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユーザーサイエンス専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

(注4) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

## 資料費 Expenditures for library materials

令和3(2021)年度  
(単位:千円/thousand yen)

	図書費 Books	雑誌・新聞費 Serials	eリソース Electronic resources	その他 Others	資料費総額
					Total
中央図書館 Central Library	206,657	69,260	688,645	7,984	972,546
医学図書館 Medical Library	19,706	9,812	25,844	275	55,637
芸術工学図書館 Design Library	12,353	3,573	195	273	16,394
筑紫図書館 Chikushi Library	12,688	4,048	133	27	16,896
理系図書館 Science and Technology Library	76,102	56,686	31,717	5,171	169,676
別府病院 Beppu Hospital	0	58	175	0	233
記録資料館 Manuscript Library	3,011	71	0	35	3,117
合計 Total	330,517	143,508	746,709	13,765	1,234,499

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上

## 電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

令和4年(2022)年4月1日現在

### アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む) Accessible e-books(including free titles)

純タイトル数 Unique titles	438,909
-------------------------	---------

### アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む) Accessible e-journals(including free titles)

純タイトル数 Unique titles	134,952
-------------------------	---------

## 契約タイトル数 Licensed e-Journals

令和4年(2022)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	66	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,479
American Institute of Physics (AIP)	9	LexisNexis: Nexis Uni	11,258
American Physical Society (APS)	11	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	34
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	33	Medical Online Library (MOL) *	1,511
Association for Computing Machinery (ACM)	110	OECD iLibrary	137
Cambridge University Press	43	Oxford University Press	50
Cell Press	11	ProQuest Central	18,476
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Science (AAAS)	4
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	4,163	Springer Nature: Nature	32
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,267	Springer Nature: SpringerLink	68
EBSCOhost: Business Source Complete	3,749	Taylor & Francis	77
EBSCOhost: EconLit with Full Text	672	UniBio Press *	5
Elsevier ScienceDirect	2,311	University of Chicago Press	5
IEEE: ASPP Online, POP Online	294	Wiley Online Library	1,429
IEICE *	8	World Scientific Publishing	4
Institute of Physics (IOP)	16	日本物理学会(JPS) *	1
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	386	その他	398
		合計 Total	48,119

\* 国内誌

## 蔵書数 Holdings

令和4(2022)年3月31日現在

	図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
	和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	1,624,940	887,648	2,512,588	27,211	10,880	38,091
医学図書館 Medical Library	138,105	174,567	312,672	2,808	7,025	9,833
芸術工学図書館 Design Library	125,511	49,735	175,246	1,972	976	2,948
筑紫図書館 Chikushi Library	66,229	68,525	134,754	472	1,085	1,557
理系図書館 Science and Technology Library	403,068	611,258	1,014,326	9,962	13,674	23,636
別府病院 Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館 Manuscript Library	46,898	3,767	50,665	70	2	72
合計 Total	2,411,444	1,808,991	4,220,435	42,787	33,989	76,776

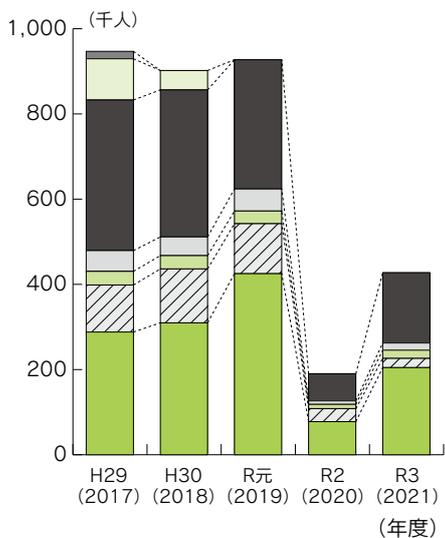
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

# 統計 = 推移と分析 = Statistics

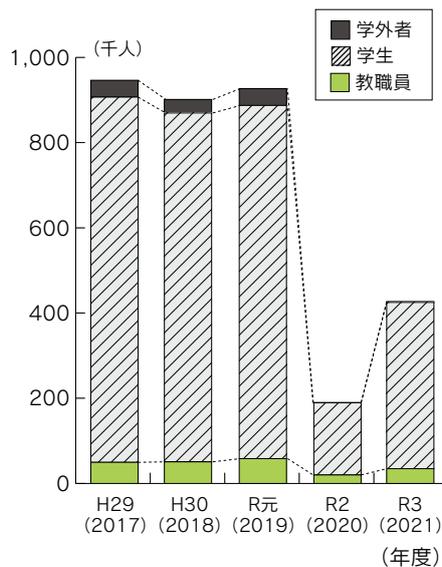
## ■ 利用サービスの推移



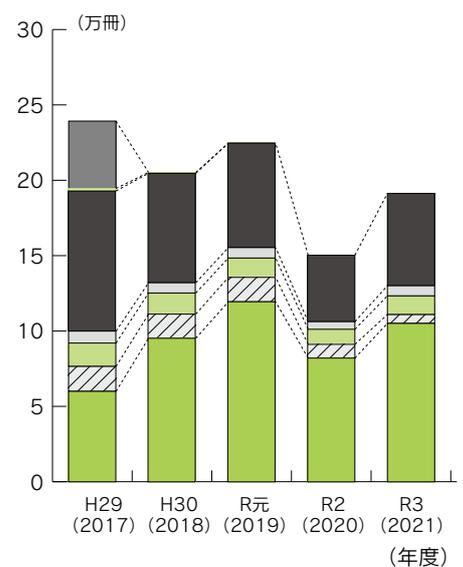
入館者数



身分別入館者数



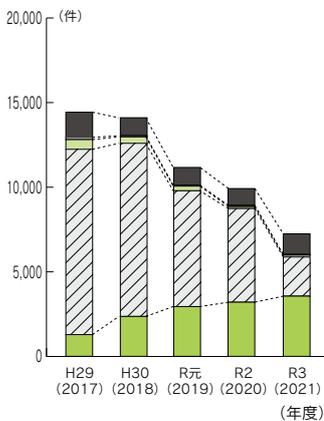
貸出冊数



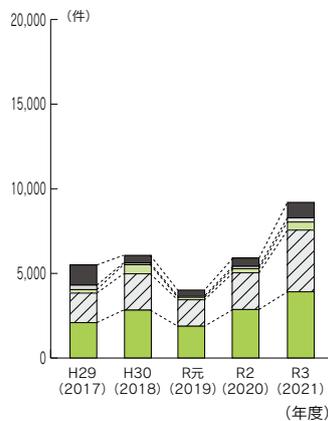
入館者数は前年度比約125%増となり大幅に回復したものの、新型コロナウイルス感染症流行前の一昨年度と比べると約54%減となりました。特に学生の入館者数の変化が大きく、対面授業の一部再開により各キャンパスを訪れる学生が増えたことが、前年度よりも入館者数が増えた要因と考えられます。

貸出冊数は前年度比約27%増となりました。一昨年度と比べても約15%減に留まっており、入館者の多くは資料貸出を目的としていたと推察されます。

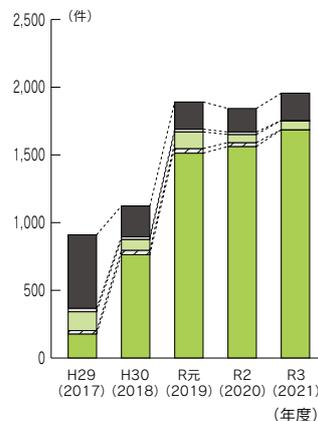
文献複写件数【受付】



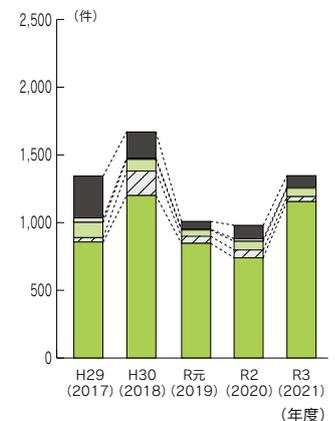
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】



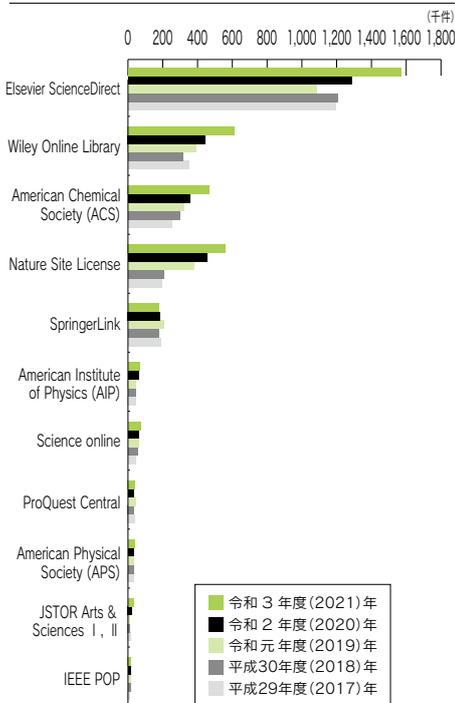
受付 (学外機関・学外個人・学内利用者への文献コピーの提供) は、中央図書館を除き、全体的に減少傾向です。特に令和3年度は、改修工事に伴う業務縮小もあり、医学図書館の減少が顕著です。一方、依頼 (学外機関からの文献コピーの取寄せ) は、直近4年間と比べ、令和3年度に大きく増加しています。令和2年度から実施している論文等コピーの取り寄せにかかる費用の補助事業が、研究活動を下支えしました。

受付 (学外機関への図書の貸出) は、キャンパス移転が完了した翌年の令和元年度から大幅に増え、令和3年度までの3年間で、学外機関からの多くのリクエストに安定的に応えています。依頼 (学外機関からの図書の借受) との件数の比較においても、同3年間は、受付の方が大幅に上回っており、学術情報の相互利用の面で全国的に貢献し続けています。

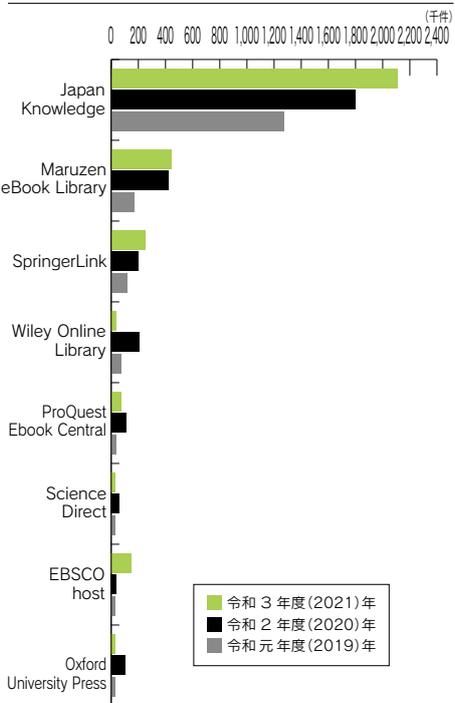


## 電子ジャーナル・電子ブック・情報検索サービスの利用の推移

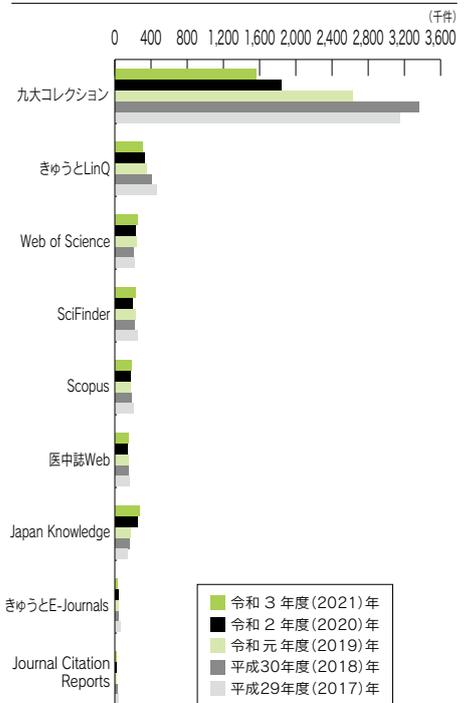
電子ジャーナルの利用 主要パッケージの利用件数



電子ブックの利用 主要プラットフォームの利用件数



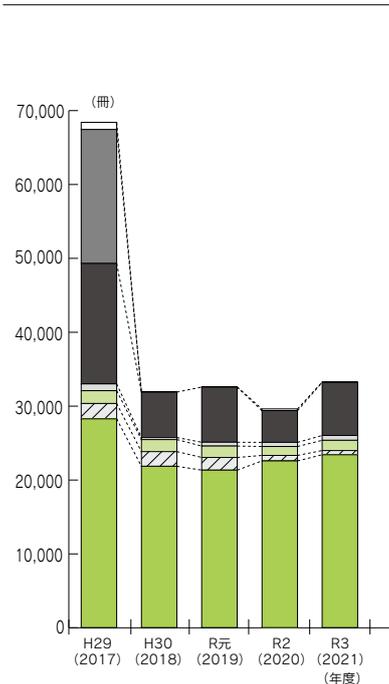
情報検索サービスの利用 主要データベースの検索回数



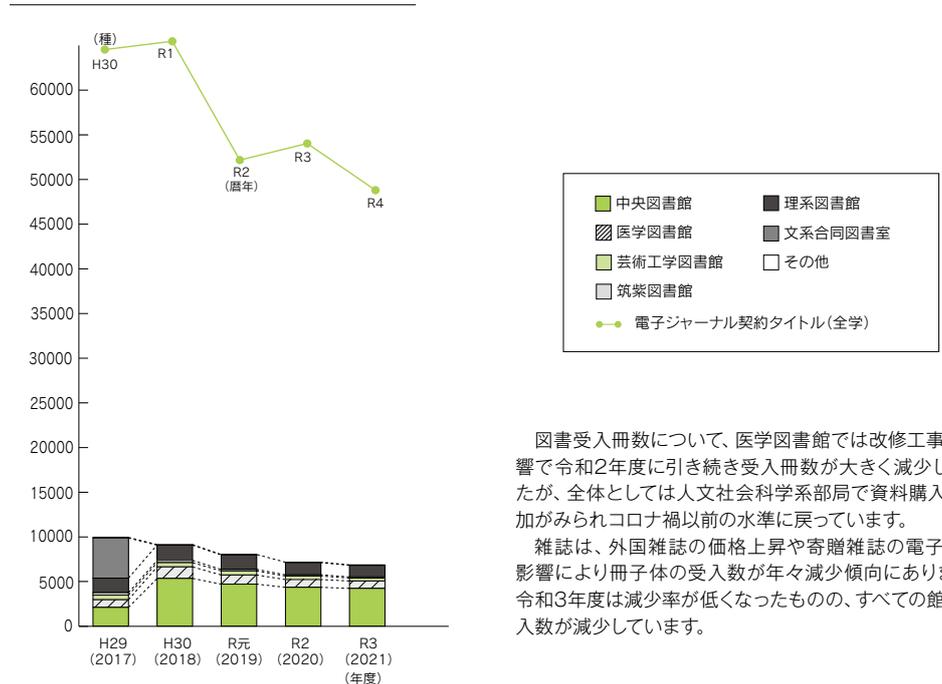
電子ジャーナルと情報検索サービスは、安定して利用され続けており、特に主要パッケージを中心に電子ジャーナルの利用が拡大傾向にあります。電子ブックはコロナ禍を契機に、特に和書の利用が伸びています。

## 資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

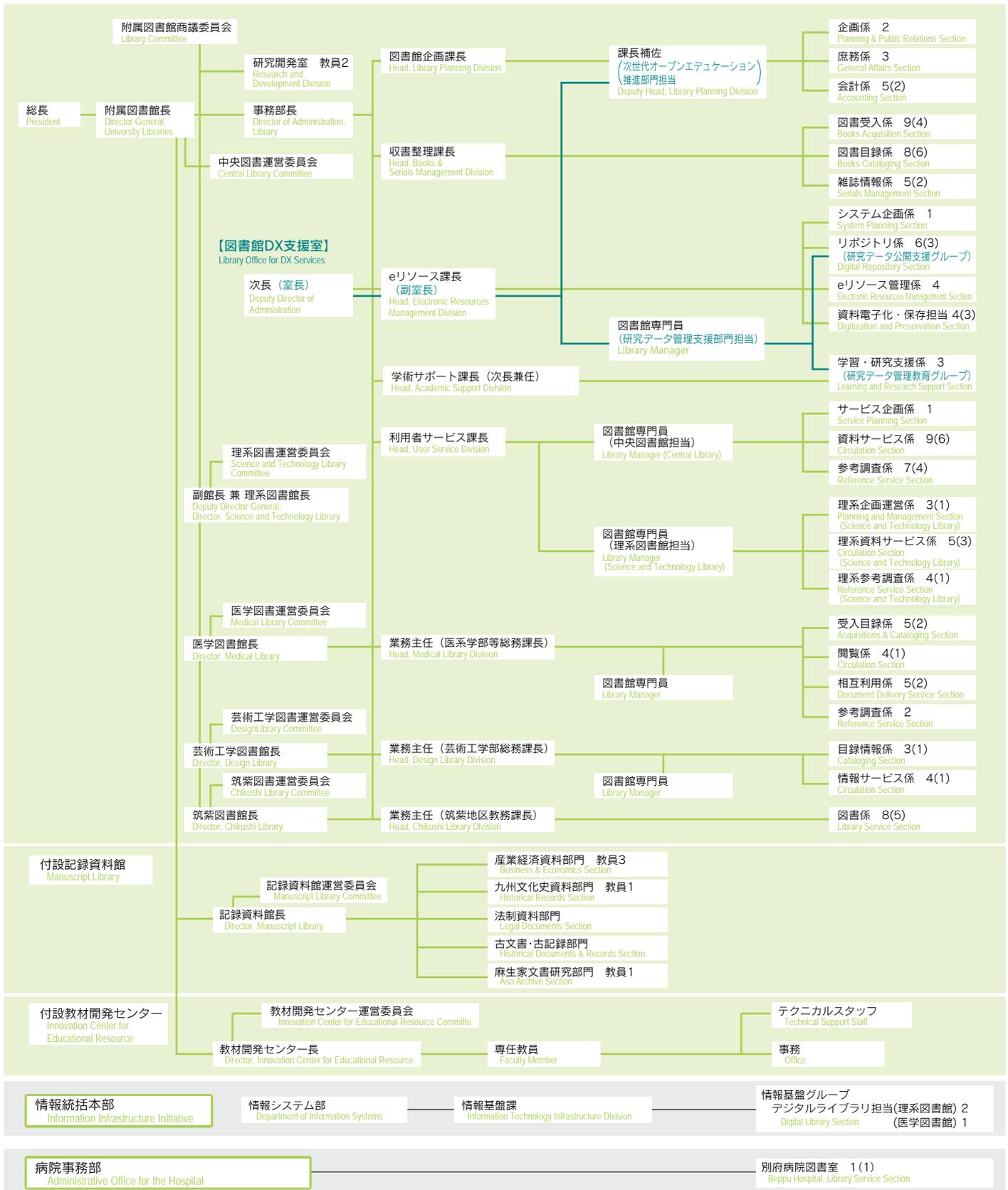


図書受入冊数について、医学図書館では改修工事の影響で令和2年度に引き続き受入冊数が大きく減少しましたが、全体としては人文社会科学系部局で資料購入の増加がみられコロナ禍以前の水準に戻っています。

雑誌は、外国雑誌の価格上昇や寄贈雑誌の電子化の影響により冊子体の受入数が年々減少傾向にあります。令和3年度は減少率が低くなったものの、すべての館で受入数が減少しています。

# 附属図書館の組織 Organization

(令和4年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	3	1	2	8

区分	部長	次長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	1	5	1	5	23	86(46)	122

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( )内は非常勤職員で内数。

## 附属図書館長・副館長・分館長等

令和4年5月1日現在

附属図書館長(副学長)	岩田 健治(経済学研究院 教授)	記録資料館長	宮本 一夫(人文科学研究院 教授)
副館長・理系図書館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
医学図書館長	住本 英樹(医学研究院 教授)	事務部長	細川 聖二
芸術工学図書館長	伊原 久裕(芸術工学研究院 教授)		
筑紫図書館長	青木百合子(総合理工学研究院 教授)		

## 附属図書館商議委員会

令和4年5月1日現在

### ■委員長

岩田 健治(副学長、附属図書館長)

### ■委員

富浦 洋一(副館長・理系図書館長)  
住本 英樹(医学図書館長)  
伊原 久裕(芸術工学図書館長)  
青木百合子(筑紫図書館長)  
宮本 一夫(記録資料館長)  
岡田 義広(教材開発センター長)  
岡村 耕二(情報基盤研究開発センター長)  
河野 俊行(留学生センター長)  
岡崎 敦(人文科学研究院 教授)  
施 光恒(比較社会文化研究院 教授)  
野々村淑子(人間環境学研究院 教授)  
遠藤 歩(法学研究院 教授)  
清水 一史(経済学研究院 教授)

山村ひろみ(言語文化研究院 教授)  
安中 雅彦(理学研究院 教授)  
稲濱 譲(数理学研究院 教授)  
三浦 岳(医学研究院 教授)  
山座 孝義(歯学研究院 教授)  
片山 勉(薬学研究院 教授)  
安田 和弘(工学研究院 教授)  
前田 享史(芸術工学研究院 教授)  
川邊 武俊(システム情報科学研究院 教授)  
大瀧 倫卓(総合理工学研究院 教授)  
磯田 宏(農学研究院 教授)  
古屋 謙治(基幹教育院 教授)  
馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)  
寒川 義裕(応用力学研究所 教授)  
木戸秋 悟(先導物質化学研究所 教授)  
縫田 光司(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)  
細川 聖二(附属図書館事務部長)

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館 (全国の国立大学図書館)  
九州地区国立大学図書館協会 代表館 (九州地区の国立大学図書館)  
九州地区大学図書館協議会 幹事館 (九州地区の国公立大学図書館)  
福岡県図書館協会 理事：館長 (福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館 (福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

### 医学図書館

日本医学図書館協会 (全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)  
九州地区医学図書館協議会 (九州地区の医学系大学図書館)

## 外部委員会での職員の役割

- 結城 憲司(図書館企画課長)  
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 運営委員会委員  
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 研究データ作業部会主査
- 堀 優子(eリソース課長)  
国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員  
国立大学図書館協会資料委員会電子資料小委員会委員  
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 運営委員会委員
- 渡邊 由紀子(学術サポート課長・准教授)  
福岡市総合図書館運営審議会委員
- 羽賀 真記子(収書整理課図書受入係長)  
国立情報学研究所「目録システム書誌作成研修」企画ワーキンググループメンバー
- 大村 武史(eリソース課システム企画係長)  
国立情報学研究所学術認証運営委員会 図書館系サービス作業部会員

- 松石 健祐(eリソース課 eリソース管理係長) 令和3年度  
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 作業部会委員
- 星子 奈美(学術サポート課学習・研究支援係長)  
国立大学図書館協会 総務委員会委員
- 原賀 可奈子(利用者サービス課資料サービス係長)  
西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員
- 兵藤 健志(利用者サービス課参考調査係長)  
国立大学図書館協会 人材委員会委員
- 中村 智晴(収書整理課雑誌情報係員)  
国公立大学図書館協力委員会 大学図書館研究編集委員会委員
- 室井 万穂(eリソース課リポジトリ係員)  
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) コンテンツ流通促進作業部会・作業部会員

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)

## 学外への転出

4/1	次良丸 章	(三重大学・国際情報部長)	企) 図書館企画課長
4/1	福井 啓介	(東海国立大学機構岐阜大学管理理学術情報課長)	利) 利用者サービス課長
4/1	吉丸 梓	(大阪大学)	利) 理系参考調査係

## 中央図書館・理系図書館

4/1	結城 憲司	企) 図書館企画課長	北海道大学附属図書館研究支援課長
4/1	首東 誠	利) 利用者サービス課長	福井大学経営企画部情報企画課長
4/1	宇戸 和彦	企) 会計係長	医系学部等学術協力課研究支援係長
4/1	山根 利彦	(人文社会科学系財務課用度第二係長)	企) 会計係長
4/1	北島 光朗	企) 企画係	収) 図書目録係
4/1	福嶋 香奈	収) 図書受入係	収) 雑誌情報係
4/1	日高 環	収) 図書目録係	利) 資料サービス係
4/1	中村 智晴	収) 雑誌情報係	学) 学習・研究支援係
4/1	安田さくら	学) 学習・研究支援係	(採用)
4/1	塚本 佳奈	利) 理系資料サービス係	筑) 図書係
4/1	児玉 芽生	利) 理系参考調査係	(採用)
4/1	金子 美弥	(情報・システム研究機構) 在籍出向	e) eリソース管理係
4/1	吉村 薫	収) 図書受入係事務補佐員	(採用)
4/1	田中由紀子	収) 図書目録係事務補佐員	(採用)
4/1	高村 南美	収) 雑誌情報係事務補佐員	利) 参考調査係事務補佐員
4/1	腰 美津子	利) 資料サービス係事務補佐員	収) 図書受入係事務補佐員
4/1	川口 綾	利) 資料サービス係事務補佐員	利) 参考調査係事務補佐員
4/1	蘭田 麻記	利) 資料サービス係事務補佐員	(採用)
4/1	天野 美保	利) 参考調査係事務補佐員	収) 雑誌情報係事務補佐員
4/1	井手口優紀子	利) 参考調査係事務補佐員	(採用)
4/1	板谷富貴子	利) 理系資料サービス係事務補佐員	(採用)
4/23	上田 麻由	(退職)	企) 庶務係
4/24	佐々木睦美	企) 庶務係	(育児休業)
5/1	栗原 彩華	収) 図書受入係事務補佐員	(採用)
6/1	柳田 朱里	e) eリポジトリ係事務補佐員	(採用)
6/1	平野 姫那	利) 資料サービス係事務補佐員	教材開発センター事務補佐員
6/16	本告 宏美	企) 会計係事務補佐員	(採用)
6/30	片山 博貴	(退職)	利) 資料サービス係事務補佐員
7/1	松本 茂	eリソース課事務補佐員	(採用)
7/1	小佐々真由美	利) 参考調査係事務補佐員	(採用)
8/1	清水 敏之	研究開発室准教授	(採用)
9/30	DUGNE HENNEQUIN QUENTIN ARNAUD	(退職)	研究開発室テクニカルスタッフ
10/1	梶原 瑠衣	収) 図書受入係	芸) 情報サービス係
10/1	西 真里恵	e) eリソース管理係	利) 参考調査係
10/1	三上 真弓	利) 資料サービス係	e) eリソース管理係
10/1	岩下 夏帆	利) 参考調査係	利) 資料サービス係
10/1	CREMADES ROCAMORA ALEJANDRO	研究開発室テクニカルスタッフ	(採用)
12/1	佐野 直樹	利) 資料サービス係(職域限定職員)	(採用)
1/1	佐々木睦美	企) 庶務係主任	企) 庶務係
3/2	三上 真弓	(育児休業)	利) 資料サービス係
3/31	久保 智之	(退任)	附属図書館長
3/31	河上 草彦	(定年退職)	利) 図書館専門員
3/31	栗原 彩華	(退職)	収) 図書受入係事務補佐員
3/31	石田美智代	(退職)	収) 図書目録係事務補佐員
3/31	田中由紀子	(退職)	収) 図書目録係事務補佐員
3/31	飯野 美樹	(退職)	収) 雑誌情報係事務補佐員
3/31	蘭田 麻記	(退職)	利) 資料サービス係事務補佐員
3/31	井手口優紀子	(退職)	利) 参考調査係事務補佐員
3/31	和田 真澄	(退職)	利) 理系参考調査係事務補佐員
3/31	芥川 利恵	(基幹教育院テクニカルスタッフ)	研究開発室テクニカルスタッフ
3/31	CREMADES ROCAMORA ALEJANDRO	(システム情報科学研究院テクニカルスタッフ)	研究開発室テクニカルスタッフ

## 医学図書館

4/1	住本 英樹	医学図書館長	
4/1	佐方 小弓	閲覧係	収) 図書受入係
4/1	古賀 京子	相互利用係	情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当
7/17	古賀 京子	(育児休業)	相互利用係
8/1	持山 悦子	相互利用係(職域限定職員)	(採用)
9/30	下川真悠子	(退職)	医) 受入目録係事務補佐員
10/1	松永真理子	受入目録係事務補佐員	(採用)

## 芸術工学図書館

4/1	松尾 尚樹	業務主任	病院総務課課長補佐
4/1	久保佐友里	情報サービス係	(採用)
8/1	井上 純子	目録情報係	(採用)
9/30	古賀 徹	(任期満了)	芸術工学図書館長
10/1	伊原 久裕	芸術工学図書館長	
10/1	小山田直起	目録情報係	収) 図書受入係
10/1	稲永 晶子	情報サービス係	芸) 目録情報係

## 筑紫図書館

4/1	竹内嘉与子	図書係	情報システム部情報基盤課デジタルライブラリ担当
10/1	岡田 佳子	図書係事務補佐員	(採用)
12/31	松居佐地子	(退職)	筑) 図書係事務補佐員
2/1	岡 さおり	図書係事務補佐員	(採用)
3/31	羽田 亨	(定年退職)	筑紫図書館長
3/31	太田 康治	(定年退職)	筑) 業務主任

## 教材開発センター

4/1	平野 姫那	教材開発センター事務補佐員	(採用)
4/16	山崎 千香	教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
3/31	大井 京	(退職)	教材開発センター准教授
3/31	石 偉	(退職)	教材開発センター助教
3/31	芳賀 瑛	(退職)	教材開発センター助教

## 記録資料館

4/16	諸原 真樹	記録資料館事務補佐員	(採用)
7/16	古川由美子	記録資料館事務補佐員	(採用)

## 情報システム部情報基盤課

4/1	古川 琢磨	情報基盤課デジタルライブラリ担当	利) 理系資料サービス係
4/1	岩崎 崇宏	情報基盤課デジタルライブラリ担当	医) 閲覧係

中央図書館・理系図書館	医) 医学図書館
企) 図書館企画課	芸) 芸術工学図書館
収) 図書整理課	筑) 筑紫図書館
e) eリソース課	
学) 学術サポート課	
利) 利用者サービス課	

# 貴重資料の 学外展示・掲載・放映 Rare-Book-Provision to the public

## 貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
「籌海圖編」 「長崎割記」(古質文庫) 「平戸町横瀬浦町御改之帳」 「平戸町宗旨改帳」 「寛永十九年平戸町人別生所糺」(松木文庫) 「長崎大火事之覚」(宇土細川家文書)	中央図書館 記録資料館 (九州文化史)	企画展「長崎開港450周年記念展—ふたつの開港—」 (R3.4.24~R3.6.6)	長崎歴史文化博物館
広開土王碑 拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(R3.6.1~R3.9.5)	九州国立博物館
「蒙古襲来絵詞(模本)」	中央図書館	特別展「西向くサムライ—鎌倉幕府と豊前国」 (R3.9.18~R3.11.7)	中津市歴史博物館
真名子鉄山役所より四郎丸惣太宛書状等(古野家文書)	記録資料館(九州文化史)	特別展「鉄の都のものがたり—釜石と八幡—」 (R3.10.15~R3.11.28)	北九州市立自然史・歴史博物館
「神学大全」(トマス文庫)	中央図書館	特別展「宣教師とキリシタン—東方伝導の軌跡、聖像の変容—」 (R3.11.8~R3.12.20)	西南学院大学博物館
「柳河町絵図」「出来町絵図」「柳川村字訳絵図」(楡垣文庫)	記録資料館	企画展「柳河藩の町と村」(R3.12.1~R4.2.6)	柳川古文書館
「新日本紀」(音無文庫) 「安政箇笈流行記」ほか	中央図書館 医学図書館	企画展「疫病退散!—祭礼・祈禱から科学へ—」 (R4.3.4~R4.5.8)	大分県立歴史博物館

## 貴重書等の掲載・放映(一部)、デジタルコンテンツ活用事例

### ● 出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
濱文庫戯単	中央図書館	「从“濱文庫”藏老戏单看民国梨园生态」(『文化遺産』2021年4期、2021.8)ほか
中国古典戲劇脚本小冊子(濱文庫)ほか	中央図書館	「再論日本学者對中國戲劇表演史的開拓性研究:以濱一衛的觀劇記爲中心」(『二十世紀初期東亞戲劇國際學術研討會』論文集(會議予稿集)、2021.8)ほか
「曲阜徐州開封洛陽西安旅行記メモ帳」(濱文庫)ほか	中央図書館	「濱一衛著「曲阜徐州開封洛陽西安旅行記メモ帳」(『言語文化論究』第47号、2021.10)
「春水」(濱文庫)	中央図書館	「(研究ノート)「春水」校勘記:手稿と主要版本之異同(一)」(『言語文化論究』第48号、2022.3)
「規矩元法図解」「国図概要」(桑木文庫)	中央図書館	『地図』(ものと人間の文化史シリーズ、法政大学出版局、2021.12)
「支那小説戯曲版画集」ほか	中央図書館	「戦後アジアの地域再編と学術の共同—分断・協調・再分断を超えて—」公開シンポジウム(本学術会議地域研究委員会アジアの地域協力と学術ネットワーク構築分科会、2021.12.4)ほか
「日本書紀」(廣瀬文庫)	中央図書館	「森林の国ニッポン(STEAM Library)」(凸版印刷、2022.2.1)
「相見春雨自筆調査録」(相見文庫)	中央図書館	「研究資料 酒井抱一筆「波図屏風」(静嘉堂文庫美術館蔵)の注文主と制作年代について」(『國華』第1516号、2022.2)ほか
「家礼筆記」(碩水文庫)	中央図書館	『家礼文献集成 日本篇十』(関西大学東西学術研究所資料集刊、関西大学出版部、2022.3)
「本朝画事」(雅俗文庫)	中央図書館	「江戸絵画史における土佐派の絵師と流派の動向」(『和泉市久保惣記念美術館紀要』22号、2022.3)
「博多之記」	中央図書館	「博多モノ語り No. 98、博多雑煮」(『西日本新聞朝刊』、2021.12.24)
「八境界注」(春日文庫)	中央図書館	《口絵・解説》(『文献探究』60、2022.3)
「エニグマ」(中山文庫) 「久保教授写真帖」	中央図書館 医学図書館	「【黎明期の群像】世界の「イノ・クボ」内視鏡、新しい常識に」(『福島民友新聞 朝刊』、2022.1.31)
「出島門鑑」「唐人屋敷門鑑」	記録資料館(九州文化史)	「長崎口と和華蘭文化—異文化のさざ波—」(西南学院大学博物館2021年度特別展図録、2021.9)
「筑後米蔵出し滞出訴一件控」(林田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「The Dojima Rice Exchange: From Rice Trading to Index Futures Trading in Edo-Period Japan」(出版文化産業振興財団(JPIC)、2022.3刊行予定)ほか
「仙居義梵「寒山拾得図」	文学部蔵、福岡市美術館に寄託中	「近代における仙居顕彰をめぐる覚書—福岡市美術館蔵仙居義梵筆、大室宗宸賛「寒山拾得図」の紹介を兼ねて」(『福岡市美術館研究紀要』第10号、2022.3)

### ● TV放映

資料名	所蔵館	放送番組
グロテウス「戦争と平和の法」	中央図書館	放送大学「キャンパスガイド」(衛星放送BS231及び放送大学YouTubeチャンネル 2022.1放映開始)
「福岡城下町・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「地元検証バラエティ福岡くん。検証大濠公園トリビア衝撃ランキング」(FBS福岡放送 2021.5.2)
「五輪書」(吉田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「偉人にチャレンジ」(NHK BS プレミアム 2022.3放映予定)

### ● デジタルコンテンツ活用事例

九大コレクションで公開している貴重資料等のデジタル化画像については、一部を除き、事前の利用申請をすることなく、無償で自由な利用を可能としています。上のリストには、そういったデジタル化画像の利用のうち、実際に使用者からご報告いただいた掲載・放映事例を含めています。

他にも、本学のデジタルコンテンツの被引用の例として、オンライン百科事典Wikipediaの記事が挙げられます。**同事典の蒙古襲来絵詞の項目**で本学所蔵の模本へのリンクが掲載されているほか、**勝間龍水の項目**

で紹介されている作品「海の幸」「山の幸」のリンク先も本学のデジタル化画像です。

今年度は、九州大学が所蔵する仙居作品の絵画の高精細版画像や、戦前の中国の演劇の様子を伝える戯単コレクションなどが、公開されました。特に今回公開された九州大学文学部が所蔵している仙居コレクションは、福岡市美術館、出光美術館とならび、三大コレクションとして知られており、今後の活用が期待されます。

# 図書館日誌 Diary

	全学・中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
R 3 (2021) 4	20 中央図書館運営委員会（書面回議）				
5		1 改修工事に伴う一時閉館 27 第92回日本医学図書館協会総会（書面回議）		21 第1回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	
6	16 基幹教育総合科目「中村哲記念講座」開講（～8月4日） 18 ソウル大学 校主催 The 2nd SNU-KYUSHU JOINT SYMPOSIUM 内プログラム「Staff Exchange Program」 18 第43回貴重文物講習会「唐・玄宗「紀泰山銘」の原拓資料と銘文の概要」 25 中央図書館運営委員会（書面回議）	1 仮設図書館オープン 4 第1回医学図書館運営委員会（WEB会議） 21 外国雑誌センター館会議（書面回議）	1 第1回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		
7	12 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議） 12 オンラインオープンキャンパス「動画でめぐる！九大図書館ってこんなところ！2021」公開（～3月31日） 31 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次採用試験			1 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	12 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議） 21 第1回理系図書館運営委員会（書面回議）
8		4 第2回医学図書館運営委員会（WEB会議）			
9	9 第1回附属図書館図書資料選定委員会大型図書資料専門部会（書面回議）		1 第2回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		
10		18 第69回九州地区医学図書館協議会総会（書面会議）			
11	23 パネル展「浅海底の戦争遺跡 USS エモンズーその記録と伝承」～（～12月19日） 27 シンポジウム「資料・情報資源管理組織のミッションと専門職人材」 29 第2回附属図書館図書資料選定委員会大型図書資料専門部会	25 第29回九州地区医学図書館員セミナー		2 第2回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	8 第2回理系図書館運営委員会（書面回議）
12	4 シンポジウム「図書館と社会融合：社会に開かれた情報資源」 9 デジタルトランスフォーメーション（DX）時代のデータキュレーションと情報管理	22 医学研究院FD 学術論文の購読と投稿とこれから（eリソース課講演）	3 第3回芸術工学図書館運営委員会（書面回議） 10 令和3年度第1回サイエンス・プラントー開催		6 第3回理系図書館運営委員会（書面回議）
R 4 (2022) 1	11 武谷椋亭生誕200年記念 大阪大学・九州大学巡回展（電子）「緒方洪庵と武谷椋亭」 11 小展示「武谷文庫の紹介—九州大学と武谷家」～（～2月16日） 26 第44回附属図書館貴重文物講習会「武谷椋亭の足跡—武谷文庫からみる幕末福岡藩の医事」		4 第4回芸術工学図書館運営委員会（書面回議） 28 第5回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）	14 筑紫図書館長候補者選考委員会（書面回議）	26 第4回理系図書館運営委員会（書面回議）
2		21 第3回医学図書館運営委員会（書面回議）			22 第5回理系図書館運営委員会（書面回議）
3	13 座談会「中村哲先生のスピリットを継承する」 17 中央図書館運営委員会（書面回議）		1 改修工事に伴う一時閉館 11 第6回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		

記録資料館	教材開発センター	全学会議 (全学の会議・委員会のうち、 教員が参加しているもの)	関係団体会議等への出席
			16 第51回九州地区国立大学図書館協会総会 (web会議)
			14 国立大学図書館協会春季理事会 (web会議) 25 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 (書面回議) 31 第72回九州地区大学図書館協議会総会 (書面回議)
	3 第1回教材開発センター運営委員会		25 第68回国立大学図書館協会総会 (web会議)
20 第45回記録資料館運営委員会		6 第232回附属図書館商議委員会 26 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会	
	27 JMOOC 講座「海洋プラスチック汚染」 (~9/24)		
	24 M2B 講習会(オンライン開催) <主催: 基幹教育院> 24 360度VR動画制作講習会(オンライン開催)		
		18 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 22 第1回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会 28 商議委員会 (書面回議)	8 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議 (web会議)
			12 国立大学図書館協会秋季理事会 (web会議) 26 2021 (令和3) 年度福岡地区研究会 (web会議) 26 国立七大学附属図書館協議会 (web会議)
	10 FD 電子教材著作権講習会(オンライン開催) 10 FD 電子教材開発者向け講習会(オンライン開催)	8 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 21 第2回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会	20 九州地区国立大学附属図書館館長・事務(部・課)長会議 (web会議)
25 記録資料館運営委員会 (書面回議)	22 第2回教材開発センター運営委員会 (書面回議)	9 第3回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	
15 第46回記録資料館運営委員会		3 第4回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 10 第233回附属図書館商議委員会 18 第3回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会 25 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会	

令和4(2022)年8月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

